



ドイツからの
環境・エネルギー
先端レポート

ドイツのビオ食品事情

● 松田 雅央(まつだまさひろ)
1966年盛岡生まれ。カールスルーエ市在住ジャーナリスト。
1992年東京都立大学工学研究科大学院修了、1995年渡独。
趣味はサイクリング。自然豊かな農村地帯を走る爽快さが好き。
<http://www.umwelt.jp/>

より高い安全性を求めて

日本ほどではありませんが、ドイツも中国から多量の食料品を輸入しており、最近のメラニン問題で税関検査が一段と厳しくなりました。そういった突発的な有害食品問題が注目を集めるのは当然ですが、ドイツ人の一般的な関心はその次の段階にある「ビオ食品(自然食品)」へと移っています。1960年代に始まった環境保全運動は必然的にエコロジカルな食生活の希求へとつながり、今やビオ食品の売り上げは全食品の3.6%に達しています*。

なお、ビオ食品とはエコロジカルに育てられた農畜産物や水産物、そしてそれを原料とした加工食品を指します。ビオ食品にはEU規則があり、植物には「遺伝子組み換えでない」「通常の農薬や化学肥料を使用しない」、畜産・水産物には「抗生物質を使用しない」「成長ホルモンを使用しない」「通常の食品より添加物を減らす」といった内容が求められます。

*EU委員会の調査(2004年)より。この資料によればEUの平均は2%、日本は0.5%以下。



ビオ食品店で買い物をする家族連れ



屋外で飼育されるビオ牛

値段は高いが、“安心”が命

ビオ食品が通常食品に比べ安全であることは確かとして、その他の違いは何でしょう。

中には「ビオ食品は自然な味がするし、おいしい」という人もいますが、実のところはっきりした差は認められません。ビオの加工食品は過剰な調味料を使わない分だけ素朴な味わいですが、それは素材の味とは別種の事柄です。ビオの生鮮食料品は形が不揃いで、不要な農薬を使わないため外見が良くないといった差も出ます。

一方、値段はビオ食品が顕著に高く、オレンジならば1.5倍程度、肉類ならばごく普通に2倍程度。それでも消費者がビオ食品を購入するのは商品を信用しているからに他なりません。生産者—小売店—消費者を結ぶ信頼感こそがビオ食品の命です。

信用を守る仕組み

しかし、偽物を生産・販売する業者は必ず存在するので、ビオを守るしっかりした仕組みが必要です。

前述のEU規則を満たし、公的機関の検査をパスした商品にはEUのビオマーク(図1)が与えられ、さらにビオ生産者団体は、EUより厳しい独自規則に基づいて商品にロゴ(図2参照)を付けます。この2種類のマークがある商品は品質に間違いないと考えていいでしょう。

さらに公的・私的な「商品チェック雑誌」がビオ食品をチェックし、その結果を“実名”しかも“写真付き”で公表しますから、大掛かりな不正を長期間行うことは事実上不可能です。

ビオ食品普及のために求められるのは、まず生産者のモラル。消費者の側にも、真の大切さを見極める意識が求められます。それに加えて明確なビオの規則と、ビオの信用を守る多面的な仕組みを整えなければなりません。

安全な食品が食べたい、そして家族に健康なものを食べさせたい。その思いは国の違いを超え、全ての人に共通するはずで



図1 EUのビオ食品認証マーク



図2 著名なビオ生産者団体「デメター」の認証マーク

表紙写真 写真家河野裕昭氏が撮影した水車の写真をお届けします

表紙は福岡県朝倉町の「三連水車」。筑後川の流れを受ける堀川にかかり、朝倉町の農地を今も潤している。貴重な文化遺産として国指定史跡にもなっています。



ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

Deutsche Asset Management

A Member of the Deutsche Bank Group



投資信託営業部

☎ 0120-442-785

(受付時間:営業日の午前9時から午後5時)

<http://www.damj.co.jp>

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報および著者個人の見解を含む第三者コメントをもとにドイツ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、内容の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、これらは当社の運用方針、投資判断とは一切関係ありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データや見直し等は記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。 D-081003-2